

# 「人権週間」期間中にいろいろな行事が行われました。

## ～自分の側にいる人を大切に 日々を過ごしていきたいですね～



彦根市役所玄関ロビーで開催中の『人権週間パネル展示』に豊郷町人権擁護委員の上田さん(右)と清水さん(左)が参画してくださいました。



↑法務局彦根支局の担当者から研修を受けていただきました。↓学級での様子です!(^^)!



表面でもお伝えしたように、12月4日から10日までの一週間を人権週間として、全国的にさまざまな啓発活動やイベントが行われました。本町においても、隣保館での人権研修、街頭啓発活動のほかに、人権擁護委員のみなさんが両小学校に出向き、1年生の子どもたちに絵本の読み語りをしていただきました。この活動は、絵本をとおして子どもたちに『友だちを大切にしようね』というメッセージを伝えるものとして、10年以上前から行っています。今回も子どもたちは、楽しい表情で読み語りを聞いていました。『豊郷の子は、豊郷で見守り、育んでいく。』その思いを改めて確認できる大切な活動の一つになっています。

毎年、人権週間期間中に開催される『人権尊重と部落解放をめざす県民のつどい』が12月8日(日)、10時から14時45分まで米原市の文化産業交流会館で開催され、豊郷町からも参加してきました。午前中の「地域からの発信」では、ウクライナ出身で彦根市在住のイリーナさんとカテリーナさんから『避難してから3年、平和に向けて私たちにできること』と題したメッセージを届けてくれました。また午後からは、戦場カメランの渡部陽一さんによる記念講演が行われました。



### りんぽかん開放 in 書初め教室

◆2025年1月8日(水)  
◆午後3時～4時30分  
◆隣保館ダイルーム

新年 2025年は、1月8日(水)の書き初め大会からスタートします。恒例となりました、彦根総合高等学校書道部から顧問の先生と部員のみなさんに来ていただき、「楽しく習字に親しむ」ということで、書道部のみなさんが丁寧に教えてくれます。小学生のみなさんには学校を通じて案内チラシを届けますので、ぜひ「りんぽかん解放 in 書初め交流教室」に参加してくださいね。子ども食堂の美味しいおやつもあるよ。

隣保館では、就労担当職員の酒井が、町内在住のみなさまの就職に向け、支援が必要な方を対象に就労相談を実施しています。平日の8時30分から17時15分、ハローワークが発行している求人情報の提供や就職活動の支援を行っていますので、来年もお気軽に再来館くださいね! (電話: 0749-35-0611)

### 日栄小あおぞら学級&豊郷小ひまわり&くすのき&そよかせ学級

12月のお楽しみは、やっぱりクリスマスですね。どちらのカレンダーにも、サンタクロースが登場しています! もうすぐ、冬休みですね。風邪などに気を付けて、クリスマスを楽しんでください。また、来年もよろしくお祈りします。

2024年12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

### お家に残っている毛糸を寄付してください。お願いします。

～【認知症マフ】をご存じですか?～

・イギリスで使われ、日本でも手作りでボタンやリボン飾りやアップリケ等をくっつけた、毛糸で編んだ筒状のものをマフといいます。認知症の方が手を入れ、筒のなかに入れた小物をさわると安心できると言われていたことから、日本でも幅広く【認知症マフ】として広める活動が展開されています。本町でも認知症の方に優しいマフを作る取組をされていることから、お家に残っている毛糸があれば譲っていただきたいのです(^^)。認知症マフの活動は、豊郷病院運営の『認知症カフェ豊豊(とよとよ)』の応援で『豊かな郷こども食堂』の嶋瀬さん、平塚さん、宮川さんが担当されています。毛糸は、隣保館までご持参いただきますようお願いいたします。

今年も大変お世話になりました。本当にありがとうございます。みなさまが笑顔で2025年を迎えられることを願っています。どうぞ、よいお年をお迎えください。来年も隣保館でみなさまとお会いできることを楽しみにしています。(豊郷町隣保館 職員一同)